

# 平成30年度 学校研究

## 1. 研究主題

### 『聴いて・考えて・発信し合い、深い学びを追求する生徒の育成』

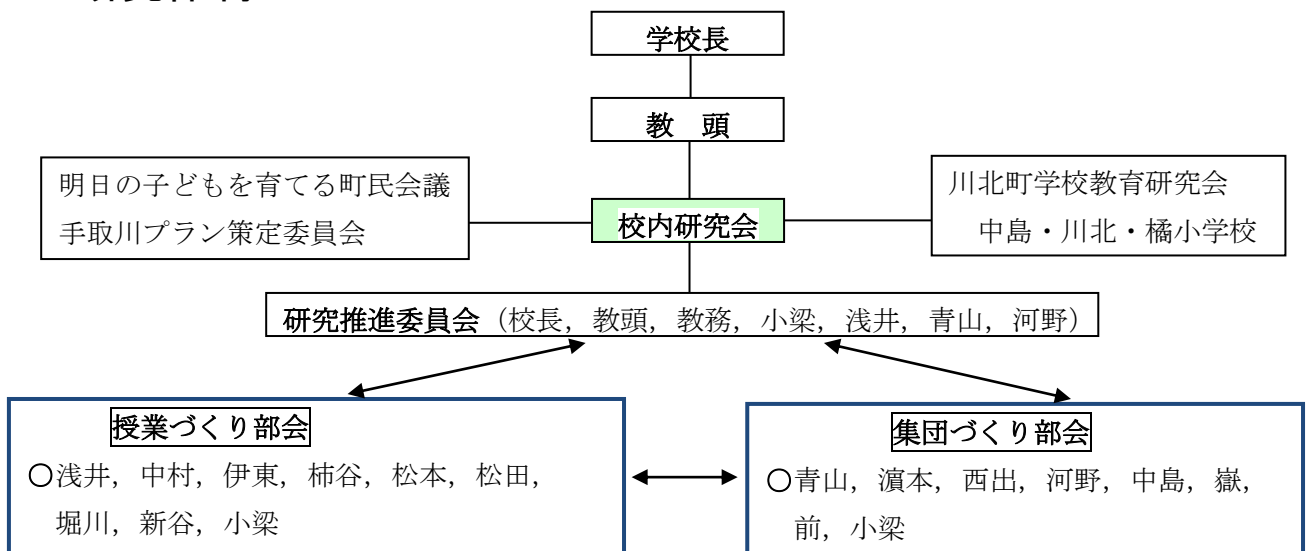
～ 授業づくりと集団づくりを通して ～

## 2. 主題設定の理由

本校では昨年度は、「発信できる生徒」「互いに学び合い深め合える生徒」の育成と、「意見を出し合える集団力の向上」を図ることとして取り組んだ。そのために、柱を「授業力」と「学級力」の2つに絞り、考えを発信し合い深い学びにつながる授業改善を推進するとともに、親和的で温かい、自治的な学級集団の育成を図り、生徒同士で考えを伝え合いながら、主体的・対話的で深い学びを追求する生徒の育成を目指し、研究主題を設定し進めてきた。全校集会で生徒へ取組を呼びかけたり、教員の授業交流を進めたりすることで、研究主題に向けた意識は高まり、生徒が話し合い活動に積極的に取り組む姿や、話したくなる課題設定の工夫など、一定の成果を上げることができた。しかし、まだ発言する生徒に偏りがあつたり、聴き手の意識の低さから授業が深まらなかつたりと、改善する要素はある。

そこで、今年度は「発信できる生徒」を「聴いて・考えて・発信できる生徒」へと改め、「互いに学び合える生徒」の育成を確かな向上につながるものにしていきたいと考える。昨年同様、親和的で温かい、自治的な学級集団の育成を進めるが、一方で、「聴いて・考えて・発信できる」授業づくりは、親和的で温かい学級集団につながるとも考えられる。そこで授業づくりと集団づくりをともに進め、相互に高め合いながら授業改善を進めることで、主体的・対話的で深い学びを追求する生徒の育成を目指し、研究主題を設定した。

## 3. 研究体制

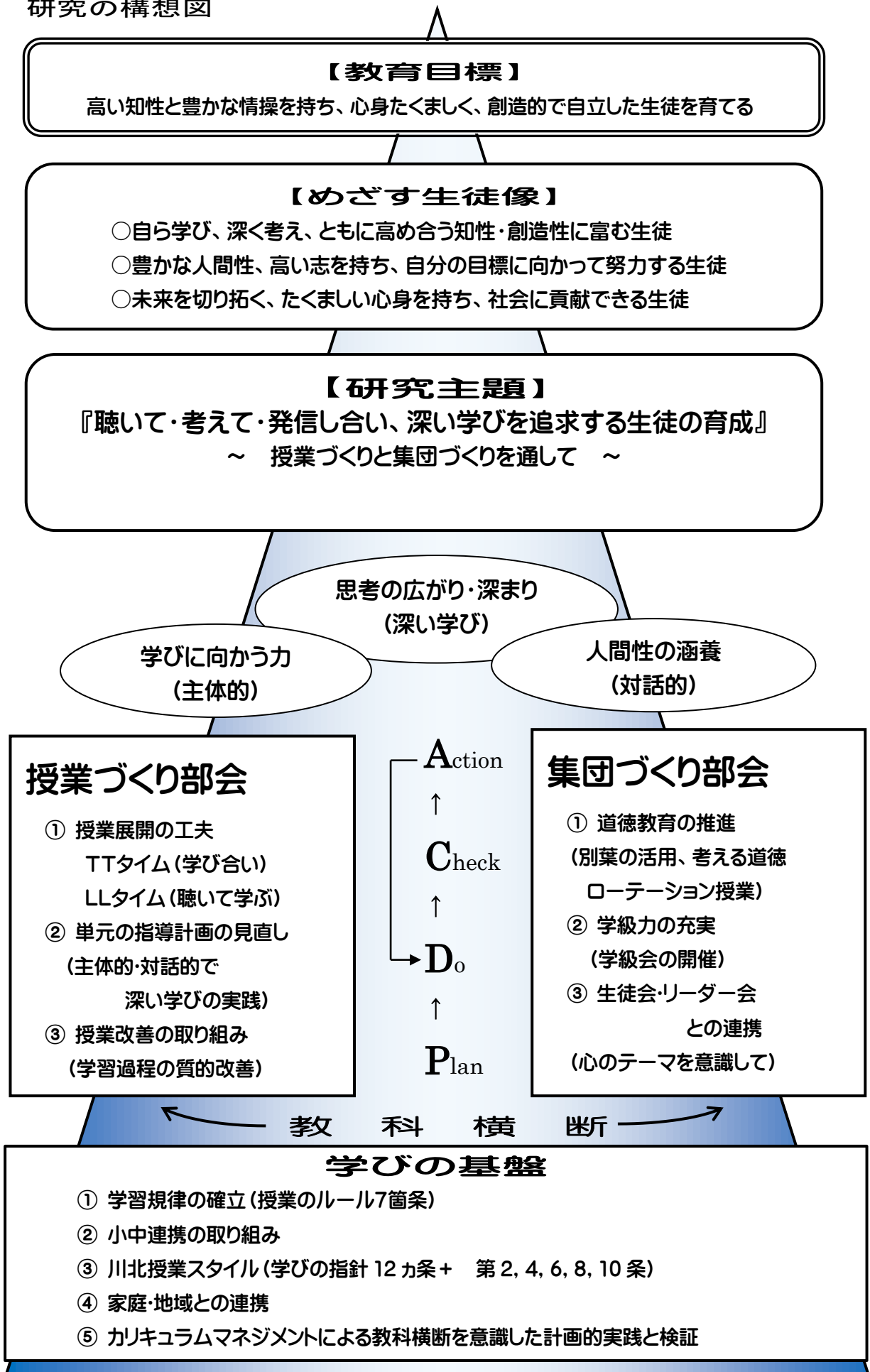


**研究推進委員会**・・・カリキュラムマネジメントによる教科横断的实践、PDCAサイクルを意識した研究の推進

**授業づくり部会**・・・積極的な授業研究、授業力の向上、校内研修の充実、小中連携推進

**集団づくり部会**・・・居心地の良い集団づくり、道徳教育と特別活動の継続した取り組み推進  
掲示物の制作、整備、家庭・地域との連携推進

#### 4. 研究の構想図



## 5. 校内研究会

4月 当初	研究推進委員会①（研究内容、研究の方向性確認、年間計画の確認）
4月 当初	第1回校内研究会（研究主題、推進体制、研究計画の確認、個人研究テーマの提案）
4月 当初	第1回学級づくり学習会
4月25日	授業参観、全体会
5月15日	第2回校内研究会（指導案検討）★学校指導アドバイザー
5月24日	要請訪問（公開授業、授業整理会）
7月 4日	第3回校内研究会（道徳研修会）※指導主事を要請して
8月 中旬	第4回校内研究会（次期学習指導要領の研修・模擬授業）★学校指導アドバイザー
8月 下旬	第5回校内研究会（QU アンケート、学力調査の分析）
10月 4日	第6回校内研究会（模擬授業）★学校指導アドバイザー
11月 6日	計画訪問（研究授業、公開授業、授業整理会）
11月12日	第7回校内研究会（タブレット研修会）
12月21日	卒業課題研究発表会（全校集会）
1月21日	第8回校内研究会（各部会の反省と課題）★学校指導アドバイザー
2月13日	第9回校内研究会（平成30年度の研究のまとめ、成果と課題の確認）
3月13日	第10回校内研究会（平成31年度の研究の方向）

## 6. 研究方法

① 聴いて・考えて・発信し合い、深い学びにつながる授業の交流（年間を通して実施）

☆ チェック項目

- 生徒が話したくなる課題、発問の工夫（学ぶ意欲）
- 生徒が考えを交流・発信する場面の工夫（学びの共有）
- まとめ、振り返りの充実（学びの実感）

② 月ごとの目標の設定

聴く力や話す力等において、月ごとに小ステップを設け、段階的に力量を上げる取組を行う。教員アンケートや生徒アンケートから達成状況を把握する。

③ 校内研究会の充実

毎月の校内研究会では「学級力向上」「授業力向上」などのテーマのもと、内容を各部会で精選し、内容の充実を図る。

④ 個人研究

教職員一人ひとりの個人テーマのもと、学校研究にそって授業改善をすすめる。

